

# 世界8資産リスク分散バランスファンド (目標払出し型)

## <愛称：しあわせのしずく>

追加型投信／内外／資産複合

### 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、外国投資信託証券への投資を通じて、トータル・リターン・スワップ等を活用することで、主に日本、先進国、新興国の株式・債券、日本、先進国の不動産投資信託証券（リート）の8資産に分散投資を行い、中長期的に安定したリターンの獲得をめざします。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2021年7月13日～2022年1月11日

第16期	決算日：2021年8月11日	
第17期	決算日：2021年9月13日	
第18期	決算日：2021年10月11日	
第19期	決算日：2021年11月11日	
第20期	決算日：2021年12月13日	
第21期	決算日：2022年1月11日	
第21期末 (2022年1月11日)	基準価額	9,719円
	純資産総額	5,274百万円
第16期～ 第21期	騰落率	△3.8%
	分配金合計	210円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

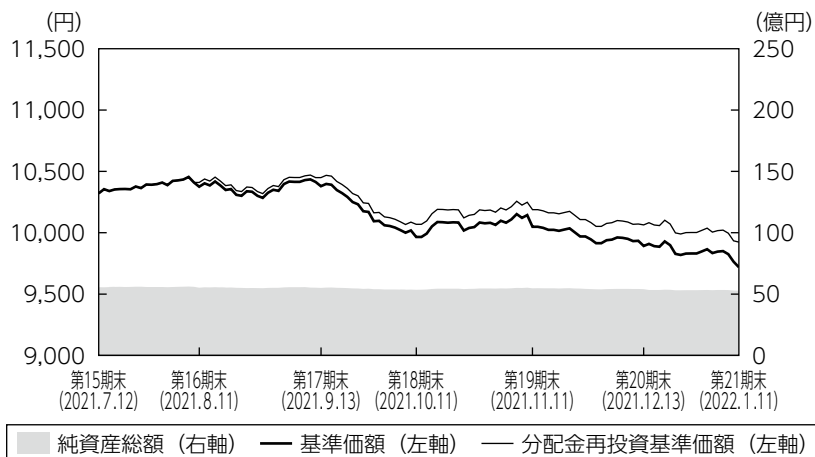
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



第16期首： 10,321円  
 第21期末： 9,719円  
 (既払分配金210円)  
 騰落率： △3.8%  
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

原油価格の上昇によるインフレ加速懸念や、米国の金融政策の早期正常化観測などを背景に米長期金利が上昇（債券価格は下落）し、安定資産はマイナスに寄与しました。また、リスク性資産についても、中国不動産大手の債務不履行懸念や新型コロナウイルスの変異株への懸念などから、国内リートや新興国株式市場が軟調に推移し、基準価額は下落しました。

### ◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンド	△3.7%
D I A Mマネーマザーファンド	△0.0%

- (注) One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンドの騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第16期～第21期		項目の概要
	(2021年7月13日 ～2022年1月11日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	32円	0.313%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,135円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(12)	(0.116)	
(販売会社)	(18)	(0.182)	
(受託会社)	( 2)	(0.016)	
(b) その他費用 (監査費用)	0 ( 0)	0.001 (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	32	0.315	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

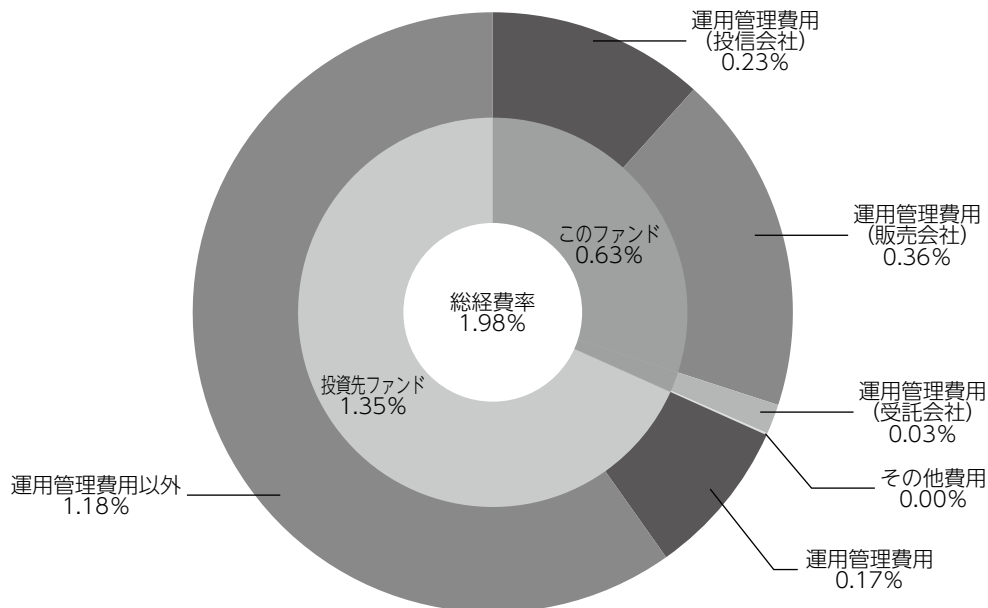
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

**(参考情報)**

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.98%です。



総経費率 (①+②+③)	1.98%
①このファンドの費用の比率	0.63%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.17%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	1.18%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

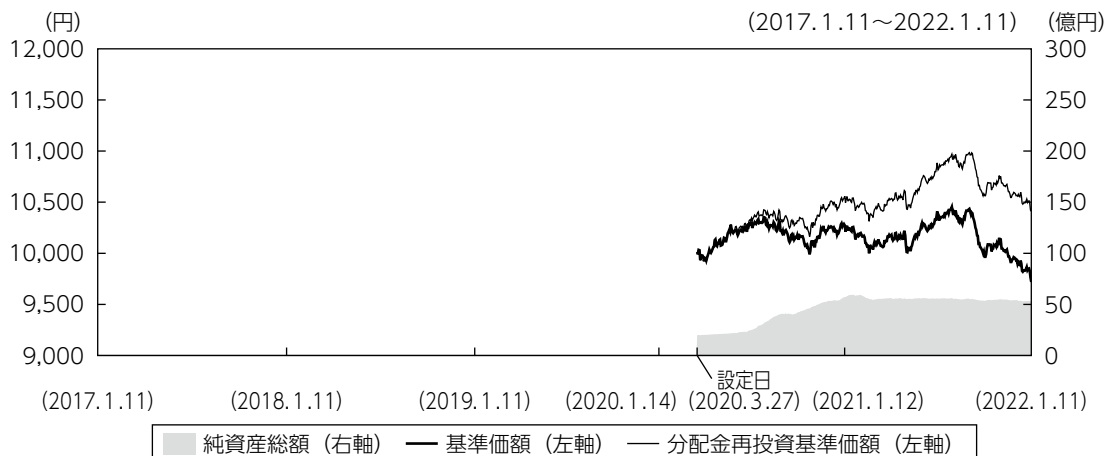
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。

	2020年3月27日 設定日	2021年1月12日 決算日	2022年1月11日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	10,000	10,273	9,719
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	280	420
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	5.6	△1.4
純資産総額 (百万円)	2,000	5,703	5,274

- (注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。
- (注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

## 投資環境

中国不動産大手の債務不履行懸念や新型コロナウイルスの変異株への懸念などから株式市場が世界的に下落する場面があったものの、主要企業の良好な決算などを背景に、米国を中心に先進国株式市場は上昇しました。債券市場では、インフレ懸念や景気回復への期待などから金利が上昇（債券価格は下落）しました。

為替市場では、円は対米ドルで円安となり、対ユーロではほぼ横ばいとなりました。対米ドルでは、米金融政策の早期正常化観測などから、円安となりました。対ユーロでは、原油価格の上昇などを背景に一時円安となったものの、その後ECB（欧州中央銀行）の金融緩和長期化観測や新型コロナウイルスの感染拡大への懸念などから円高ユーロ安が進み、前作成期末比でほぼ横ばいとなりました。

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは日銀の金融緩和政策の影響からマイナス圏で推移しました。日銀が大規模な金融緩和政策を続けており、国債利回りに低下圧力がかかっていることが要因となりました。

## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンドの組入比率は、原則として高位を維持し、DIAMマネーマザーファンドへの投資も行いました。

### ●One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンド

#### 【基本配分戦略（月次）】

各投資対象に関する基本配分比率を月次で決定し、リバランスを行いました。期を通じ、安定資産へ50～65%程度、リスク性資産へ30～50%程度配分しました。

#### 【機動的配分戦略（日次）】

安定資産の下落するリスクが高まったと判断した2021年9月下旬から11月上旬等において、現金等の配分を高めました。また、リスク性資産が下落するリスクが高まったと判断した9月下旬から10月中旬等において、リスク性資産の配分を減らしました。

### ●DIAMマネーマザーファンド

残存期間の短い国債などで運用を行いました。

## 分配金

当作成期の収益分配金につきましては分配方針に基づき、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第16期	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期
	2021年7月13日 ~2021年8月11日	2021年8月12日 ~2021年9月13日	2021年9月14日 ~2021年10月11日	2021年10月12日 ~2021年11月11日	2021年11月12日 ~2021年12月13日	2021年12月14日 ~2022年1月11日
当期分配金（税引前）	35円	35円	35円	35円	35円	35円
対基準価額比率	0.34%	0.34%	0.35%	0.35%	0.35%	0.36%
当期の収益	35円	35円	35円	35円	35円	35円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	456円	466円	476円	489円	499円	510円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

引き続き、One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンドを組入れることを基本とした運用を行います。また、D I AMマネーマザーファンドへの投資も行います。

### ●One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンド

基本戦略である基本配分戦略（月次）および機動的配分戦略（日次）に基づき、各投資対象の組入比率を定め、安定した収益の獲得をめざします。

### ●D I AMマネーマザーファンド

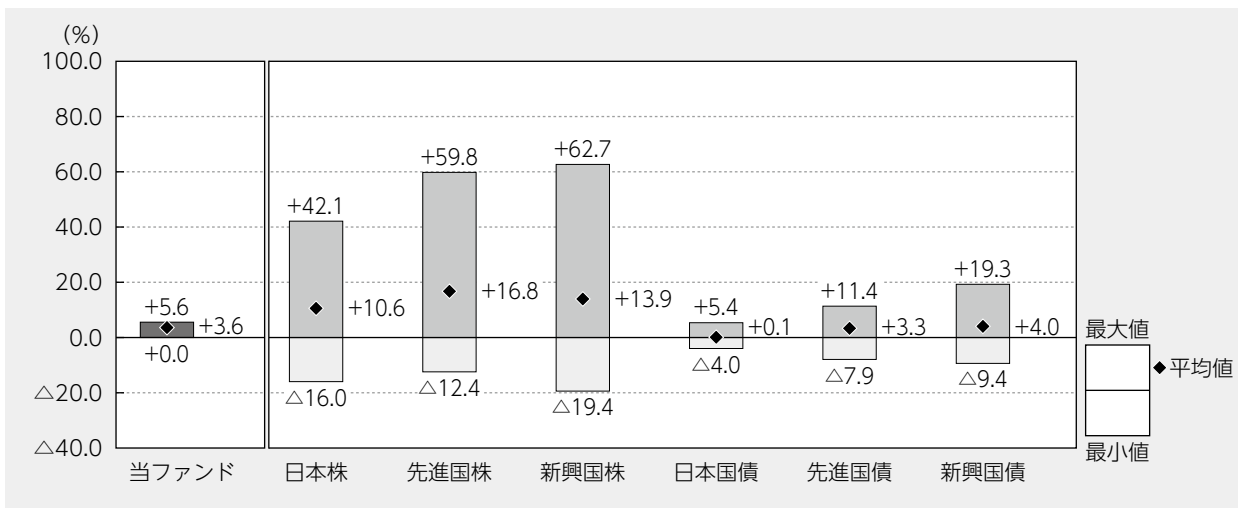
日銀は消費者物価指数が前年比2%の上昇となる物価安定の目標達成に向け、引き続き緩和的な金融政策を継続していくと予想しています。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用をめざします。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2020年3月27日から2030年7月11日までです。
運用方針	外国投資信託証券への投資を通じて得られる収益の獲得および外国投資信託における毎月の分配実施 <sup>*</sup> による定期的な投資信託財産の一部払い出しを目的とします。 <sup>*</sup> 実質的な投資元本の払い戻しにより一部または全部の額を充当することができます。
主要投資対象	「One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンド（以下、「バランス・ファンド」といいます。）」円建受益証券と「DIAMマネーマザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
運用方法	バランス・ファンドでは、トータル・リターン・スワップ等を活用することで、主に日本、先進国、新興国の株式・債券、日本、先進国の不動産投資信託証券（リート）の8資産に分散投資を行い、中長期的に安定したリターンの獲得をめざします。 基準価額の変動リスクを年率4%程度 <sup>*</sup> に抑えながら、中長期的に安定的な運用をめざします。 <sup>*</sup> 上記数値は目標値であり、常にリスク水準が一定であること、あるいは目標値が達成されることのいずれを約束するものではありません。また、上記数値は当ファンドの長期的なリスク水準の目標を表すものであり、当ファンドが年率4%程度の収益を目標とすることを意味するものではありません。上記数値が達成されるかどうかを問わず、実際の運用成績がマイナスとなる可能性があります。 各投資信託証券への投資割合は、資金動向や市況動向等を勘案して決定するものとし、バランス・ファンドの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。 1万口当たりの基準価額（過去に支払った収益分配金の金額は含みません。）が2,000円を下回った場合には、投資対象とする投資信託証券の売却を行い、一定期間後に繰上償還を行います。
分配方針	毎決算時（原則として毎月11日。休業日の場合は翌営業日。）に、原則として以下の方針に基づき収益の分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②分配金額は、委託者がバランス・ファンドの分配金を原資として、基準価額水準、市況動向等を勘案して、決定します。分配金は投資収益にかかわらず、委託者があらかじめ定める目標分配水準に応じて支払うことをめざします。結果として、この投資信託から分配される分配金額の一部または全部が、実質的な投資元本の払い戻しにより行われることがあります。また、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。 <sup>*</sup> 第1期（2020年5月11日）の決算は収益分配を行いません。



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンド : 2021年3月~2021年12月

代表的な資産クラス : 2017年1月~2021年12月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

### \*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容（2022年1月11日現在）

#### ◆組入ファンド等

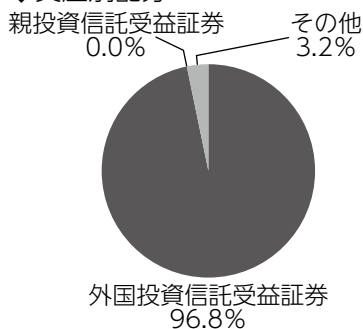
（組入ファンド数：2ファンド）

	第21期末
	2022年1月11日
One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンド	96.8%
D I A Mマネーマザーファンド	0.0
その他	3.2

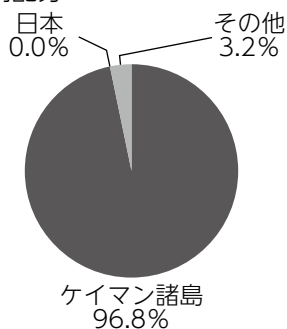
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

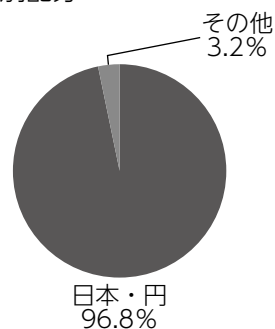
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

### 純資産等

項目	第16期末	第17期末	第18期末	第19期末	第20期末	第21期末
	2021年8月11日	2021年9月13日	2021年10月11日	2021年11月11日	2021年12月13日	2022年1月11日
純資産総額	5,521,951,471円	5,502,863,506円	5,351,163,928円	5,469,863,191円	5,396,775,289円	5,274,787,706円
受益権総口数	5,322,365,369口	5,301,922,034口	5,369,294,661口	5,442,948,869口	5,455,489,266口	5,427,435,960口
1万口当たり基準価額	10,375円	10,379円	9,966円	10,049円	9,892円	9,719円

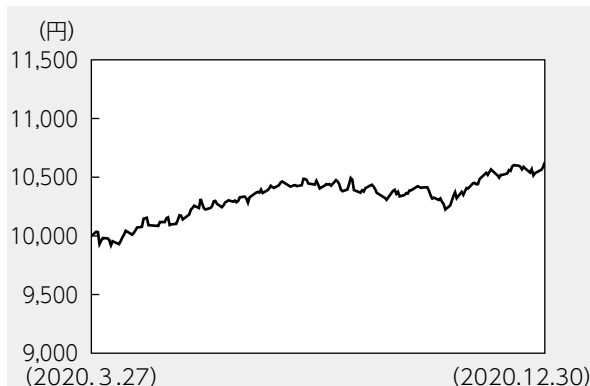
（注）当作成期間（第16期～第21期）中における追加設定元本額は495,278,760円、同解約元本額は454,875,922円です。

## 組入ファンドの概要

【One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンド】（計算期間 2020年3月27日～2020年12月30日）

※One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンドは2020年3月27日に設定されました。

### ◆基準価額の推移



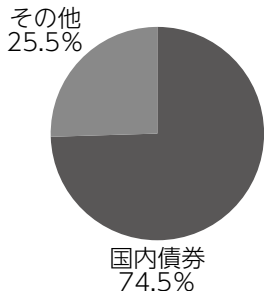
### ◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
日本国庫短期証券 0.09 05/25/21	日本・円	74.5%
担保付スワップ取引	日本・円	0.4
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
組入銘柄数	2銘柄	

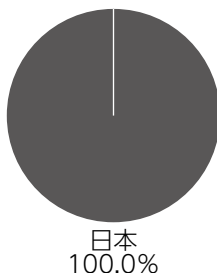
### ◆1口当たりの費用明細

費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

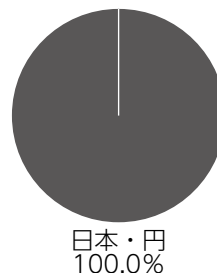
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



### ◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移はOne ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンドの計算期間のものであります。また、当期における分配金を再投資したもとしてアセットマネジメントOneが作成したものです。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンドの決算日現在の状況を表示しております。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別配分の比率はOne ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は、未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注5) 資産別配分、国別配分、通貨別配分には担保付スワップ取引は含まれません。

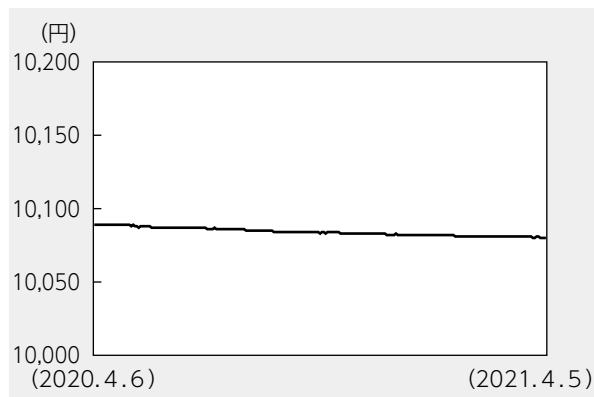
(注6) 国別配分、通貨別配分の比率は、One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンドのポートフォリオ部分に対する組入有価証券評価額の割合です。

(注7) 国別配分は、発行国もしくは投資国を表示しています。

(注8) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分は、財務書類等を基にアセットマネジメントOneが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【DIAMマネーマザーファンド】（計算期間 2020年4月7日～2021年4月5日）

◆基準価額の推移



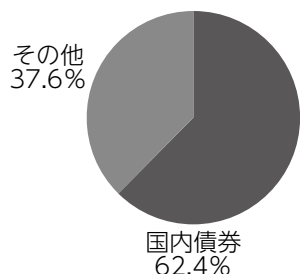
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
407回 利付国庫債券（2年）	日本・円	18.8%
402回 利付国庫債券（2年）	日本・円	18.8
27回 政保地方公共団体金融機構債券	日本・円	14.5
147回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	日本・円	9.4
133回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	日本・円	0.5
137回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	日本・円	0.4
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
組入銘柄数	6銘柄	

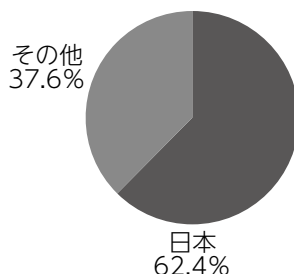
◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

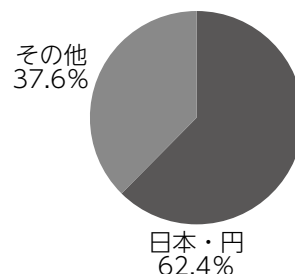
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので。

(注2) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

(このページは白紙です)

